

薬科大健康だより 6月号



テーマ：新型コロナワクチンについて

6月4日に、文部科学省から6月21日から、大学等において、職域単位でのワクチン接種の開始が可能となるよう取り組んでいくと報道され本学も7月3・4日から開始になります。

ワクチン接種が目の前に感じられ、自分も打つのだと、実感が沸いてきた人もいるのではないのでしょうか。

今回は自分にどんなワクチンを打つのか知っておきましょう！

新型コロナワクチンってどんなワクチン？

そもそもワクチンとは、免疫(身体の中に入ったウイルスと戦ってくれるいわばおまわりさん)にウイルスを覚えさせるために行われるものです。

生ワクチンは、症状が出ないように限りなく弱くした病原菌そのものを身体の中に入れるワクチン、

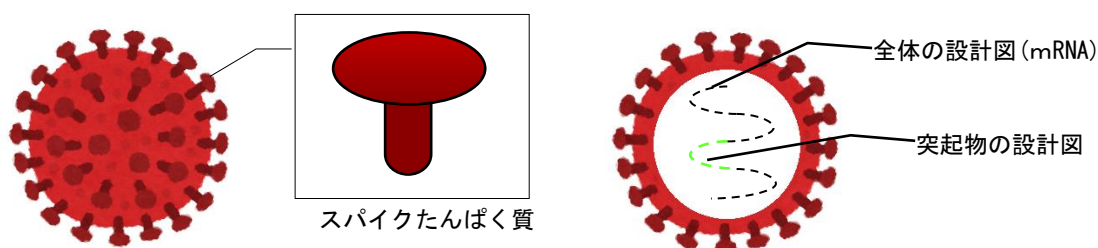
不活化ワクチンは、病原菌にいろいろな処理をして病原性をなくしたものを身体の中に入れるワクチンです。

これらのワクチンは、専用施設が必要だったり、培養の時間がかかったりと、短期間で大量のワクチンを作ることが難しいため、今回のワクチンではコロナウイルスのメッセンジャーRNA(mRNA)というものを使用することにしました。

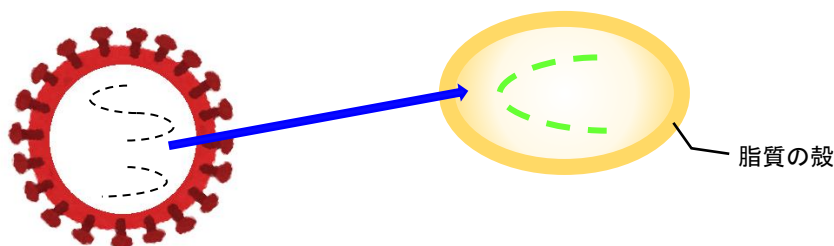


メッセンジャーRNA とはすべての生き物の中にある細胞の設計図のことをいいます。

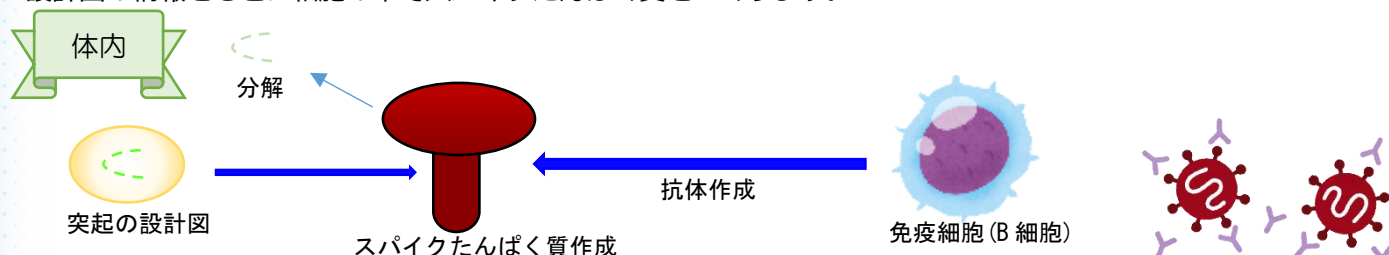
コロナウイルスの突起物(スパイクたんぱく質という)の設計図部分を取り出します。



取り出した設計図はとても壊れやすいので脂質の殻でコーティングしてあります。

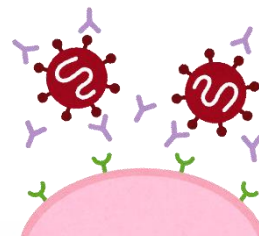


これを注射すると、人体の細胞の中に mRNA が取り込まれて、設計図の情報をもとに細胞の中でスパイクたんぱく質をつくります。



スパイクたんぱく質が体内で作られると、体の中で免疫反応が起こり、抗体を作ります。

そして、いざコロナウイルスが入ってきたときに速やかに攻撃態勢ができるようになります。



ファイザー製とモデルナ製のワクチン、効果に違いはあるの？



保存方法や接種間隔に違いはありますが、発症予防効果にはほとんど差はないそうです。

メーカー	ファイザー社	モデルナ社
発症予防効果	約 95%	約 94%
対象年齢	16 歳以上	18 歳以上
接種間隔	3 週間	4 週間
免疫ができる期間 (2 回目の接種後)	約 1 週間	約 2 週間
変異株に対する効果	一定の効果が期待できる	一定の効果が期待できる
主な保管方法	冷凍 -75℃±15℃で 6 か月保存可能	冷凍 -20℃±5℃で 6 か月保存可能

アナフィラキシーについて

アナフィラキシーとは、アレルギーの原因となる薬や食物が身体に入ってから、短時間で起きるアレルギー反応です。症状が複数の臓器にわたり全身に急速にあらわれるのが、アナフィラキシーの特徴です。

また、血圧低下や意識レベルの低下（呼びかけに反応しない）を伴う場合を、アナフィラキシーショックと呼びます。アナフィラキシーは特定のワクチンだけに起きるものではなく、様々な医薬品や食品でも報告されています。

皮膚の症状（全身）

- じんましん
- かゆみ
- 皮膚が赤くなる

粘膜の症状

- くちびる、舌、口の中が腫れる
- まぶたが腫れる



呼吸器系の症状

- 息切れ
- せき
- 呼吸音がゼーゼー、ヒューヒューする

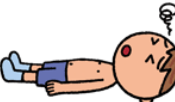


消化器系の症状

- 強い腹痛
- 嘔吐



- 血圧の低下
- 倒れる
- 失禁する



<https://allergy72.jp/anaphylaxis/symptom.html>

	ファイザー社	モデルナ社
接種回数	23,245,041	440,278
副反応疑い	1169 件(0.005%)	4 件(0.001%)
アナフィラキシー	238 件(0.001%)	0 件(0.000%)

6月23日付の厚生労働省のまとめでは、

副反応疑い報告として製造販売業者からファイザー社ワクチンについては23,245,041回接種中、1,407件が報告され、うち238件（0.001%）が専門家によりアナフィラキシーと評価されました。

武田／モデルナ社ワクチンについては440,278回接種中4件が報告され、

アナフィラキシーと評価されましたものはありませんでした。

アナフィラキシーの報告に関しても、現時点において引き続きワクチンの接種体制に影響を与える

重大な懸念は認められないとされました。

参考：厚生労働省新型コロナワクチン Q&A

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>

注射を打った後どんな反応が出るの？

CDC(アメリカ疾病予防管理センター)がまとめた論文によると副作用は以下の割合でみられるそうです。

1回目

副反応	ファイザー製	モデルナ製
腕の痛み	63.6%	71.4%
倦怠感	29.1%	32.5%
頭痛	24.7%	26.9%
発熱	7.0%	10.0%

2回目

副反応	ファイザー製	モデルナ製
腕の痛み	66.5%	78.3%
倦怠感	<u>47.8%</u>	<u>60.0%</u>
頭痛	<u>40.4%</u>	<u>53.2%</u>
発熱	<u>21.5%</u>	<u>37.6%</u>

1回目も2回目も、
腕の痛みはあって、

2回目の方が、
倦怠感や頭痛、発熱などの
身体の不調が出やすいみたいです。



副反応の症状は翌日がピークとなり、一週間ほどで消失します。

上記の副反応が出た場合は解熱鎮痛薬の内服で症状が改善します。

ロキソニンとカロナール、どちらを使えばいいの？

この2つの薬の効果は「痛みを抑える・熱を下げる」ですが、おおまかに以下のような違いがあります。

ロキソニン

成分	ロキソプロフェン
作用	身体の中にある「プロスタグランジン」を減らし、炎症・痛み・熱を抑える
市販薬名	ロキソニン S
注意点	消化性潰瘍がある人、アスピリン喘息がある人は内服できない

カロナール

成分	アセトアミノフェン
作用	痛みや体温などをコントロールしている中枢に作用する
市販薬名	タイレノール A、バファリンルナ J、ノーシン AC、ラックル速用錠 (製品によってアセトアミノフェンの量が異なります)
注意点	消化性潰瘍がある人は内服できない

SNS等で、アセトアミノフェンは副作用が少ないなどの情報が出回っており、
ドラッグストアで売っているアセトアミノフェンの市販薬が品薄な状態ですが、
アセトアミノフェン以外の市販の解熱鎮痛薬の使用も可能です。

ただし、厚生労働省や CDC(アメリカ疾病予防管理センター)では「**予防投与しない**」よう推奨しています。

解熱鎮痛薬は副反応が出たら使用しましょう。



予防接種の接種会場では、何か起きててもすぐに対応可能なように、
救急対応のスタッフの配置や医薬品などの準備をしています。

